



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,580.08	-59.71	-0.17	-0.91	12.98	30,606.48
NASDAQ	15,085.47	-295.85	-1.92	-2.62	17.05	12,888.28
日経225	28,029.57	276.20	1.00	-2.51	2.13	27,444.17
上海総合	3,607.43	33.60	0.94	1.22	3.87	3,473.07
滬深300(CSI300)	4,901.02	44.85	0.92	0.84	-5.95	5,211.29
ハンセン	23,766.69	-22.24	-0.09	-1.30	-12.72	27,231.13
中国企業	8,455.45	-50.91	-0.60	-1.41	-21.26	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.3%安と3週続落、上海総合指数は1.2%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.3%安と3週続落。南アフリカで見つかった新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染拡大が警戒され、週を通じて相場の重しとなった。ハンセン指数は週初に節目の24000ポイントを割り込んだ。政策期待から買い戻される場面もあったが、中国当局による企業統制強化の動きや米国市場に上場する中国企業の上場廃止リスクなどが警戒された。本土市場では上海総合指数が1.2%高と4週続伸。中国政府による政策期待で週末3日には1カ月半ぶりに節目の3600ポイント台を回復した。

今週の展望:香港市場は底堅い展開か、足元の下落を受けて短期リバウンドも

香港市場は底堅い展開か。中国系ADR銘柄の上場廃止リスクや新型コロナの新たな変異株「オミクロン株」への警戒は続きそうだが、ハンセン指数は先週までの3週間で6%超下落。中央経済工作会議の開催が近づくなか中国政府が景気対策を打ち出すとの観測が強まっており、短期的なリバウンドが期待される。ただ、翌週のFOMCを控えて週末にかけては手控えムードが強まる可能性もある。本土市場は上値の重い展開か。先週に節目の3600ポイント台を回復したことで戻り売りに押される展開が想定される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 創科美業(00669)	171.80	5.59
2 中国建設銀行(00939)	5.33	4.51
3 信義光能(00968)	14.08	4.30
4 中国工商銀行(01398)	4.36	4.06
5 招商銀行(03968)	63.95	3.56
6 小米集团(01810)	19.66	3.15
7 シベック(00386)	3.67	3.09
8 ベトロファイナ(00857)	3.51	2.93
9 舜宇光学科技(02382)	235.20	2.53
10 中国中信(00267)	7.31	2.09

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サンス・チャイ(01928)	17.50	-11.26
2 美团(03690)	241.20	-8.50
3 銀河娛樂(00027)	42.45	-8.02
4 アリババ集団(09988)	119.40	-7.51
5 JDドットコム(09618)	321.60	-7.05
6 吉利汽車(00175)	23.05	-6.68
7 万洲国際(00288)	4.77	-6.65
8 ネットイース(09999)	169.20	-5.32
9 恒隆地産(00101)	15.28	-4.74
10 AIAグループ(01299)	81.30	-3.90

▼今週の主なイベント

- 12月7日(火)
- 【中国】貿易統計(11月)
- 12月9日(木)
- 【中国】物価統計(11月)

▼今週の期待材料

- ◆中国の劉鶴副首相が22年の中国経済の見通しに自信を示す、21年の経済成長は目標を上回る見通し
- ◆複数の不動産会社が資産担保証券の発行を当局に申請、不動産業界への締め付け緩和期待が高まる可能性も
- ◆李克強首相がIMF専務理事とのオンライン会議で預金準備率引き下げに言及、「適切な時期」に実施へ

▼今週の懸念材料

- ◆新型コロナの変異株「オミクロン株」への警戒が続く公算、感染拡大が続けば世界景気の下押し圧力に
- ◆パウエルFRB議長が12月のFOMCでテーパリング加速を検討すると発言、早期利上げ観測高まる
- ◆滴滴出行が米国でADRの上場廃止を申請、ADR銘柄は上場廃止リスクへの警戒感が株価の重しに

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産(00123): 11月の不動産販売額が21%増加、販売面積は8%増
- ☆ 香港証券取引所(00388): 滴滴出行が香港市場向け準備、ADR銘柄の上場加速へ
- ☆ BYD(01211): 11月の新車販売台数が82%増加、新エネルギー車は3.4倍に拡大
- ◇ ホンコン・チャイナガス(00003): タウンガスにスマートエネルギー資産を売却
- ★ HSBC(00005): 外国為替の不正操作で1.7億ユーロの制裁金、欧州委員会が決定
- ★ 中国国際航空(00753): 新型コロナ「オミクロン株」に警戒感、移動制限が打撃に
- ★ 中国工商銀行(01398): 当局が元湖南省支店トップを法規違反の疑いで調査
- ★ 碧桂園(02007): 11月の不動産販売額が28%減少、販売面積は20%減
- ★ 万科企業(02202): 11月の不動産販売額が25%減少、1-11月累計では6%減
- ★ 緑城中国(03900): 11月の不動産販売額が15%減少、販売面積は16%減

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。